

◎基本情報

事務事業名		「鳴門で鳴ちゆるうどんを食べよう！」観光PR事業		担当部署	経済建設部 観光振興課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成 25 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		観光				
施策	1	観光・交流のまちづくり				
基本事業	1	観光ブランドづくり				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 県外観光客						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	県外で観光キャンペーンを行うことにより観光客増を目指すとともに、B級グルメ「鳴ちゆるうどん」のPRを行う。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	淡路SAに立ち寄る方に対し、観光パンフ・鳴ちゆるうどん割引券付きチラシを配布する。各種キャンペーンやウォルティスサポーターへのPRツールとして割引券付きチラシを活用するとともに、鳴門「鳴ちゆる」うどん研究会と連携し、県内外のイベントへ出展する。テレビ番組で取り上げてもらう機会を創出することにより、鳴門が誇るB級グルメ「鳴ちゆるうどん」のPRを行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		割引券利用人数	600	600	600	600	600	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	「鳴ちゆるうどん」のPRを行うために、各種キャンペーンや徳島ウォルティスのアウェイゲーム等で県外の方を対象に鳴ちゆるうどん割引券付きチラシの配布を行うとともに、鳴門「鳴ちゆる」うどん研究会と連携し、国民生活センター(鳴門合同庁舎)の研修に来られた県外の方を対象に、「鳴ちゆるうどん」の販売を行った。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	PRチラシ配布枚数	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	枚
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>		割引券利用人数	201	304	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)		50.7	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況			未達成		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	660	660
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	660	660
		決算額	0	0	0	0	336	336
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.1	0.0	713	1,049			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:「鳴門で鳴ちゆるうどんを食べよう！」観光PR事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	326	336	666	666	666
	うち一般財源	0	336	666	666	666
	人件費	686	713	713	713	713
	総事業費	1,012	1,049	1,379	1,379	1,379

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		県外での観光キャンペーンでパンフレットの配布を行うことにより、広く県外の方に周知ができた。
	効率性	B:概ね効率的だった		県内外のイベント出展に合わせて、鳴ちゆるうどんのPRを行った。
②成果に対する評価	指標名	割引券利用人数		県内外の観光キャンペーンなど機会を捉え、PRしているが、目標には届かなかった。効果的なPR手法を検討する必要がある。
	目標	600	人	
	実績	304	人	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		目標を達成できていないが、観光振興に一定の効果があつたと考えられることから、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	各うどん店の割引を行う鳴門「鳴ちゆる」うどん研究会や淡路SAでパンフレット・チラシを配布する観光施設等と連携を図り、事業展開する必要がある。 淡路SAや各種キャンペーン等で配布した割引券付きチラシを実際に鳴門に来てもらい、より多くの人に使ってもらうための方策を検討する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	引き続き、県内においては国民生活センター(鳴門合同庁舎)の研修に来られた県外の方を対象に「鳴ちゆるうどん」の販売を行うとともに、県外では徳島ヴォルティスのアウェイゲーム等において、鳴ちゆるうどん割引券付きチラシを配布するなど様々な場を活用してPRを図る。			
	H30年度	平成29年度の反省点等を踏まえ、事業内容の見直し・検討を行う。			